

⑪ 芝崎小鳥の森



芝崎台地にある湿地帯を利用して、1989年3月にできた公園です。カシ等の常緑樹、スギ、ヒノキの植栽がみられるほか、イヌシデ、ミズキ、ハリギリといった落葉広葉樹が広がっている。また、アカマツの大木が数本ある、流山市南部に残る貴重な森。

環境タイプ

湿地 森林

(地権)

民有地

(所管)

流山市役所みどりの課

(市民的視点)

散策路が整備されていて、立ち入りやすい。しかし、出入り口は車通りが多い道路と接していて危ない。中には、野鳥に関する看板や植物のネームプレートが設置されているため、自然に触れやすい。

(評価結果)

【○】

遊歩道沿いには植栽された植物が多く、低木や下草は綺麗に伐採されているため、かなり人為的な整備が施されている。みどりの課主導で、市民団体等に依頼して、植物名が記載されたプレートや野鳥に関する看板等を設置したという経緯がある。奥には水辺があるが、整備されていない。今後、水辺環境を整備出来れば、野鳥や虫が生息する環境になることが期待出来るが、地権者が流山市ではないため、どこまで手を加えられるのかを要所に確認・協議をする必要がある。